取扱説明書

モノタロウ 中量ラック 300kg・500kg

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
下記の注意事項をお守りいただき、正しい方法で組立て、ご使用ください。

本書は大切に保存してください。
本製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本書を添えてお渡しください。

耐荷重は棚1段あたり最大300・500kg(等分布平均荷重)です

⚠警告 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- ●最大荷重を超過して載積しないでください。棚本体が転倒したり、傾いて荷物が落下し、けがをすることがあります。
- ●安全保安部品(コーナープレート・ボルトナットなど)をはずして使用しないでください。事故によってけがをすることがあります。
- ●廃棄をするときは、専門業者におまかせください。

⚠注意 この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は傷害または物的損害が発生する可能性があります。

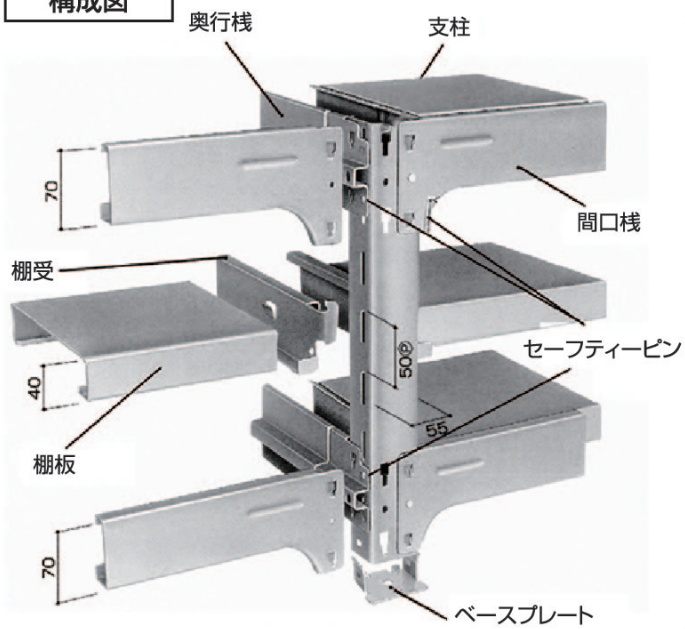
- ●集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せないでください。棚1段あたりの耐荷重は等分布荷重です。
  集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せると棚板がたわみ荷物が落下し、けがをするおそれがあります。
- ●足を掛けたりよじ登ったりしないでください。転倒してけがをしたり棚が変形するおそれがあります。
- ●荷物を放り投げて載せないでください。棚板がたわみ、荷物が落下し、けがをするおそれがあります。
- ●最上段の棚板に荷物を載せないでください。棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをするおそれがあります。
- ●棚本体に寄りかからないでください。棚の積載物・積載量によって、棚が倒れけがをするおそれがあります。
- ●本製品の孔に指を入れないでください。孔に指を入れると、けがをするおそれがあります。特に小さなお子様はお気をつけください。
- ●危険物(薬品・壊れ物など)を収納しないでください。人体や衣服などに傷をつけることがあります。
- ●ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないでください。(定期的に点検してください) 棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- ●上下を確認のうえ、正しく使用してください。棚板を逆向きに使用すると、けがをすることがあります。
- ●最上段の棚板は支柱の上端に必ず取付けてください。支柱の角でけがをすることがあります。
- ●異常を発見したまま使用しないでください。棚本体が壊れてけがをすることがあります。
- ●分解禁止。分解組立は専門業者にお任せください。転倒などの事故のおそれがあります。
- ●用途以外で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。

材質

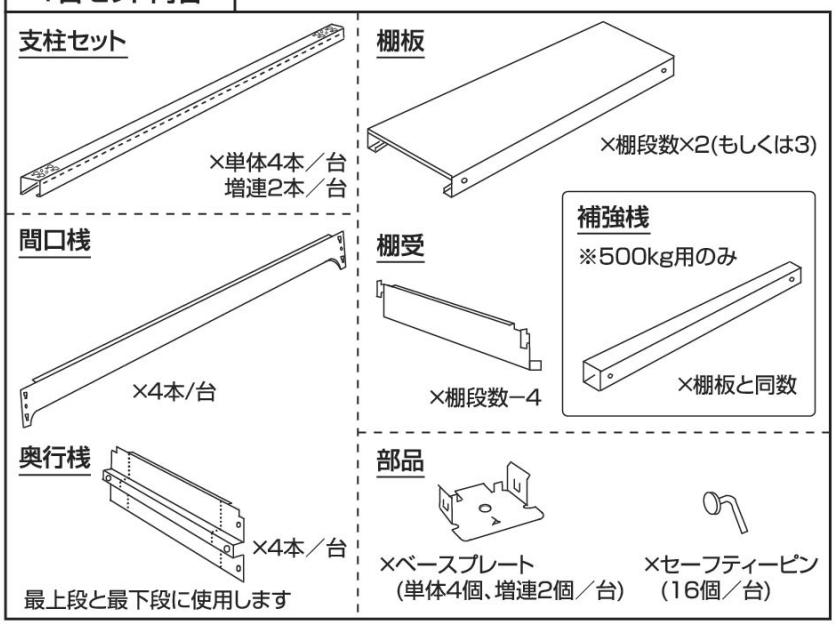
- ●支柱・間口桟・奥行桟・棚受・棚板……スチール製(メラミン樹脂焼付塗装)
- ●ベースプレート・セーフティピン……スチール製(ユニクロメッキ)

本書に従って正しく組立てを行ってください。金属製品なので取扱いには十分注意し、手袋などの保護具を使用して行ってください。
また、完成後は注意事項をお守りいただき正しくご使用ください。

構成図

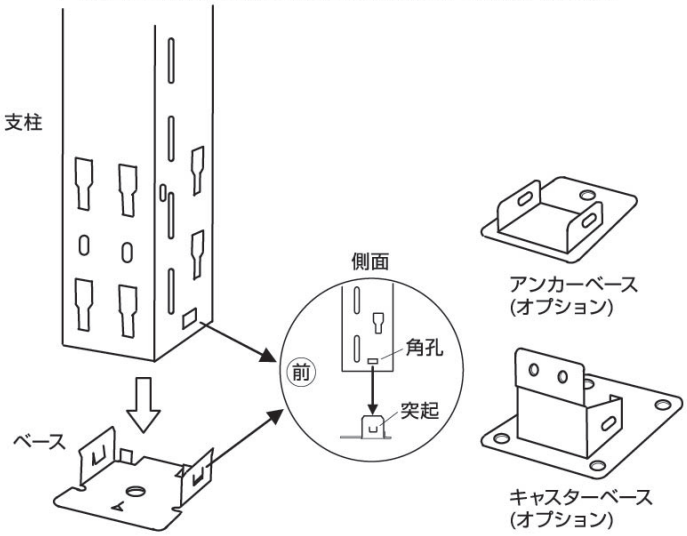


1台セット内容

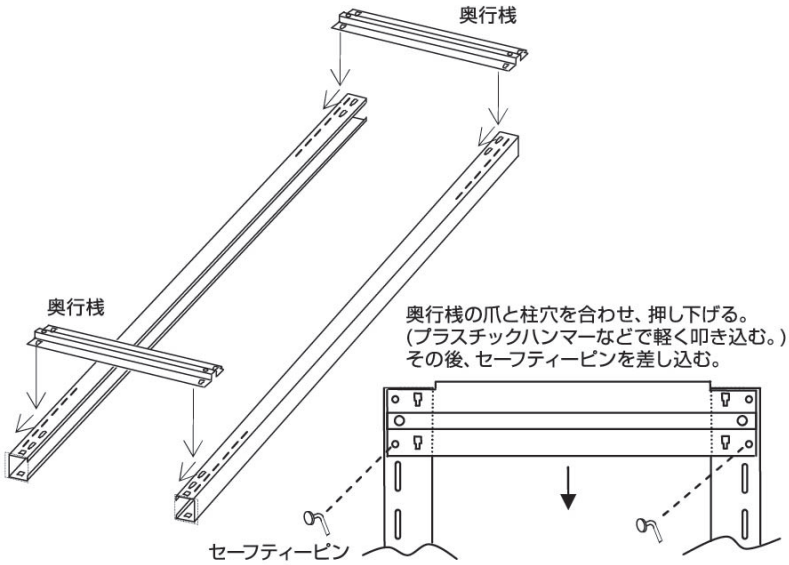


※組立は必ず広い場所で行ってください。

1 支柱下部にベースをはめ込む。
ベースの突起部が支柱下部の角孔に納まるよう押し込んでください。

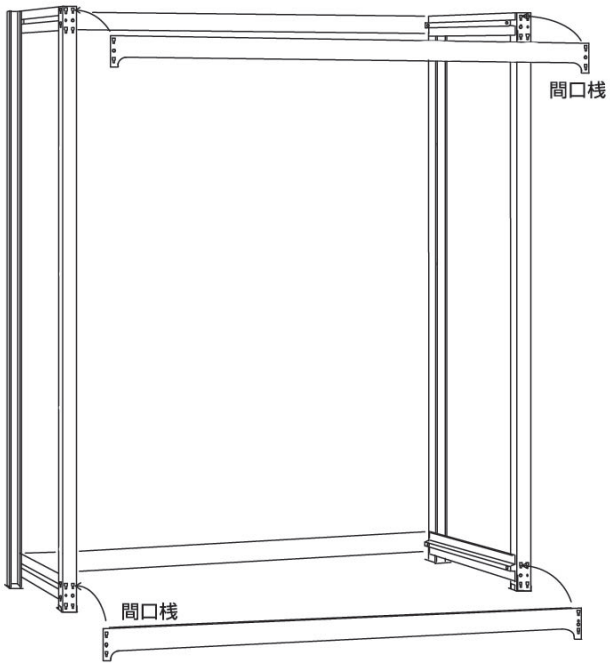


2 支柱を内向きに向い合せに床に並べ、柱上下に奥行桟をはめ込み、
支柱枠を作る。(単体2面、増連1面)

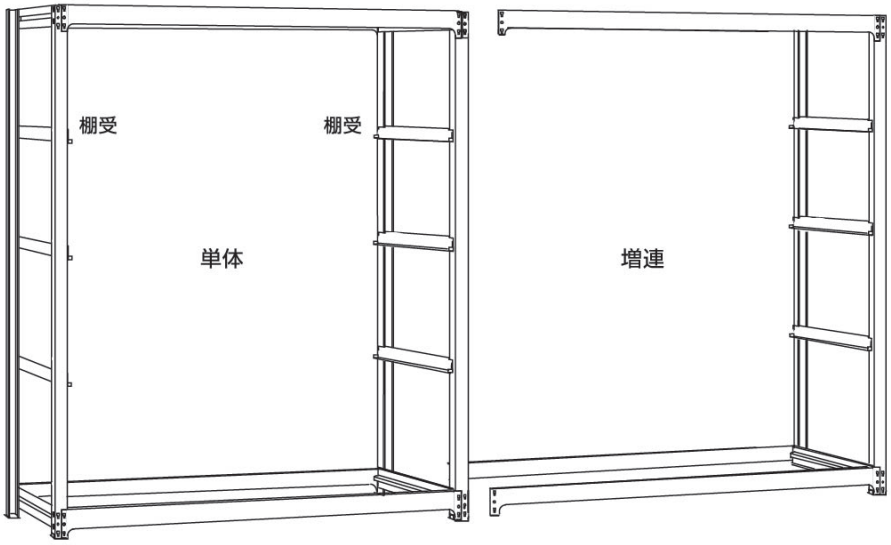


3 支柱枠2面を奥行桟側が向い合せになるようにして、
支柱上下部前後に間口桟をはめ込む。
(プラスチックハンマーなどで軽く叩き込む。)
間口桟の支柱部分にセーフティーピンを差し込む。

※この時ピンが入りにくいようであれば支柱に間口桟が正しく
差し込まれていないので、確実に差し込んでください。

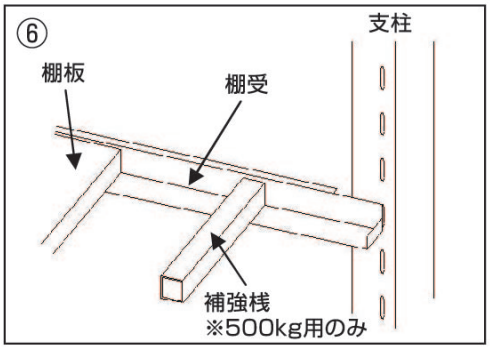


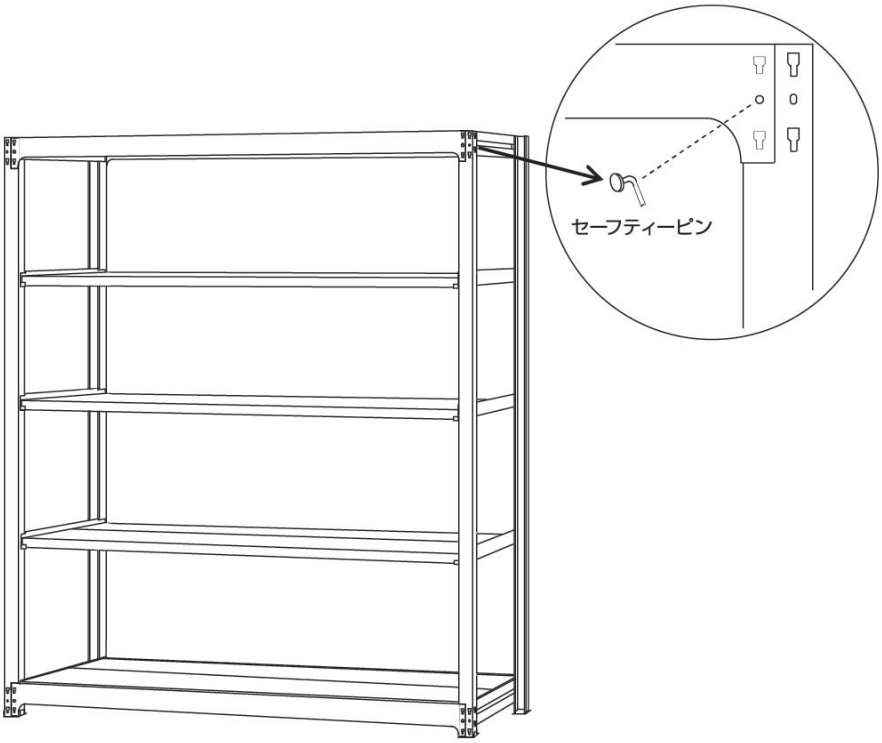
4 棚受を支柱のスリット穴に任意高さ位置へ
左右同じ段高さになるよう取付ける。



5 ※床面が不安定な場所に設置しないでください。
棚板を上下(天地)段は奥行桟に中間部は棚受に載せます。
(奥行方向に480D、620Dは2枚、700D、910Dは3枚並べます)

⑥500kg時は棚板を載せる前に補強桟を棚板のほぼ中央あたりに
補強桟が動かないように棚板を載せてください。





※間口桟、奥行桟のセーフティーピン取付けと
全体のゆがみやバランスなどを確認してください。